

放送大学
群馬学習センター

上州

No.86

発行
2023年5月〒371-0032 群馬県前橋市若宮町1-13-2 TEL 027-230-1085 FAX 027-230-1094 Eメール gunma-housou@ouj.ac.jp
群馬学習センターウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/gunma/>

センター所長あいさつ

研究論文を書くこと

放送大学群馬学習センター 所長 工藤 貴子

4月から放送大学にご入学された皆さま、ご入学おめでとうございます。

学部、大学院を初入学の方、別コースやプログラムへの再入学の方など、それぞれの目的や夢の実現に向けての様々な新しい学びが始まっていることと思います。本稿のタイトルである「研究論文を書くこと」は学びの先の集大成の一つの形であり、新しい学びのスタート時点では少し気が早いです。これについて自分の経験も交えてお話ししたいと思います。

学生の皆さまに縁の深い卒業研究論文や、修士研究・博士研究論文等の様式は分野やテーマによっても様々ですが、既存の論文や資料調査も含めてその手法に依らず自身の研究で見出した新しい成果を記載します。また、学術論文という分類もあり、こちらは研究論文の中でも専門分野の学会誌や学術雑誌等に掲載される論文で、雑誌のグレードや査読の有無、被引用数等で論文の質が評価されます。

研究の醍醐味は、どんなに小さなことでも、これまでに無い新しい事実を発見することや、これまで未解決だった事柄を初めて解き明かすことと個人的には考えていて、その「新しい」「初めて」の成果を公表する手段としての論文は著者にとって極めて重要な自己表現と言えると思います。表

現という意味では、研究そのものとはまた違った困難や面白さがあります。

私の人生初の論文である卒業研究論文のテーマはある固体製剤の安定性で、研究室の先生や先輩方との共同研究の一部として幸いにも学術論文（英語）として公表して頂けました。その後の、修士論文や博士論文は逆に自分の幾つかの学術論文（英語）をまとめた形としました。

大学院生時代の恩師からの論文作成に関するアドバイスは、1) 説明が途中であちこち寄り道せず順に流れる様に書くこと、2) 英語で書く場合は、中学生レベルの英語で良いので一つの文章は短めにシンプルに書くこと、でした。これらは、つまり読者に分かりやすい論文を書くための工夫で、学生の論文を添削する立場になった今でも常に心がける様にしています。

大学院生の時に初めて英語で書いた学術論文で、指導教員から、「英語はともかく面白かった。」と言われた時、また、初めて自分の名前が載った論文が学術雑誌に掲載された時の嬉しさは今でも良く覚えています。そこに至るまでに長い時間と多くの労力を費やし、英作文は今でも苦労しますが、完成や雑誌掲載決定の幸せな瞬間を味わいたくて今後も可能な限り研究論文を書きたいと思っています。

目次

巻頭文	1	事務室からのお知らせ	6~7
ご卒業・修了おめでとうございます／卒業生代表の言葉	2	学生サークル紹介／群馬学習センターのウェブサイト紹介	8~9
卒業生代表の言葉つづき／修了生代表の言葉／ご入学おめでとうございます	3	土曜フォーラム開催報告	10
客員教員新体制・学習相談／退任のあいさつ	4	今後のスケジュール	11
システムWAKABAを活用しよう	5	同窓会からのお知らせ／10月入学生募集	12

2022年度卒業生及び修了生

ご卒業・修了おめでとうございます！

3月25日（土）に、東京都渋谷区にあるNHKホールにおいて、「2022年度放送大学学位記授与式」が挙行されました。なお、群馬学習センターにおいては、学部生60名、大学院生8名が第2学期にご卒業・修了となり、新たな一步を踏み出しました。

社会がコロナ禍等により大きく混乱した状況の中、今日の晴れの日を迎えられたことは日頃の皆様の努力の賜物と思います。本学で出会った仲間と学びを大切に、いきいきと活躍されることを願っております。



【学部卒業生】

コース名	第1学期	第2学期	合計
生活と福祉コース	15名	10名	25名
心理と教育コース	11名	23名	34名
社会と産業コース	11名	6名	17名
人間と文化コース	5名	10名	15名
情報コース	3名	8名	11名
自然と環境コース	5名	3名	8名
合計	50名	60名	110名

【大学院修了生】

プログラム名	第1学期	第2学期	合計
生活健康科学プログラム	0名	2名	2名
人間発達科学プログラム	0名	2名	2名
臨床心理学プログラム	0名	1名	1名
人文学プログラム	0名	1名	1名
情報学プログラム	0名	1名	1名
自然環境科学プログラム	0名	1名	1名
合計	0名	8名	8名

卒業生代表の言葉

2022年度第2学期

教養学部 心理と教育コース卒業
井上 楓加



入学したのは4年前、高校を卒業してから2年が経った春でした。中学生の頃から、困難を抱える子どもたちに関わる職に就くことが私の目標でした。関わりと一口に言っても様々で、「医療」「心理」「福祉」の3分野で悩んだ末、先の選択肢が多い看護師の資格を取得しようと看護の道に進みました。充実した学生生活でしたが、授業の一環で心理学に触れ、興味がそちらに惹かれているのを感じ中退。放送大学に入学し、放課後児童支援の仕事をしな

から心理学を中心に学びました。

学業と仕事の両立はもとより、何よりも苦労したのは自主自律を求められることでした。それも含めて、自分自身と真剣に向き合った4年間だったと思います。興味の赴くままに、挑戦したいことに挑戦する中で、漠然としていた目標もだんだんと形になっていきました。第一志望先から内定もいただき、卒業後は福祉的なニーズを抱える子どもとその家庭のサポートに従事します。やっとスタートラインに立てそうです。これから先もたくさんの壁にぶつかるとは思いますが、きっと私は大丈夫と、放送大学での4年間は大きな自信になりました。学びと経験の場を与えていただいたことに感謝します。

卒業に寄せて ～思い出すこと、感謝、これから～

2022年度第2学期

教養学部 人間と文化コース卒業
南雲 正和



この春は入学してから5度目の春になります。当時、多忙だった現役が完了し、人生を振り返る季節にあって放送大学で何か生きた証を、と考えていました。而して、今更気分もあって逡巡していましたが、群馬学習センターに伺うと「大丈夫ですよ」と背中を押してくれて、「放送大学で卒業研究論文を書こう」と目標と決心がつかしました。修学もそれ

に沿って科目を選択し、それらが浅学の身には新鮮な驚きと手ごたえがありました。また、面接授業も著名な講師が目の前にいることに嬉しさや緊張を覚えました。そして、杉森哲也先生から人物史の学問的存在を学び、大橋理枝先生のオンライン指導には大きな感激も経験しました。特に感慨深いのは、島内裕子先生の「人生は絶えざる試行錯誤、絶えざる問いかけと自己省察が人生の意義を教えてくれる。」と、これが今後の歩みの杖となりました。果たして卒業研究の成果は、相当に思いが及びませんでした。大学での学びには爽やかな達成感がありました。

いがらし ゆみ
五十嵐 祐美

十数年前の3月、世間では桜の開花を待ちわびる人であふれる中、私は大学受験に失敗し、一足早く桜を散らせていた。大学進学に消極的な両親が浪人を許すわけもなく、予定より早く社会に出て働き始めたが、進学できなかったことの悔しさは年々増すばかりであった。

「この気持ちを消化するには、大学を卒業するしかない。」

そこから一念発起し、県内で働きながら学べる放送大学に入学した。

それまで、勉強は試験や受験で人と競うためにやるものとして、仕方なく取り組んでいた節があった。しかし、大学では今まで触れる機会がなかつた世界を知ることができ、純粋に学ぶ楽しさを味わうことができた。次学期の科目選択の時期になると、次は何を勉強しようかとワクワクしながらシラバスとにらめっこしていたことを思い出す。

在学中に結婚と2度の出産を経験したが、仕事と家庭の両立に加え、勉強時間の捻出にはとても苦労した。早朝や隙間時間を使い、限られた時間の中で勉強を進めた。「退学」の2文字が脳裏をよぎることもあったが、オンライン授業や休学制度を利用し、また、家族の協力もあって、在学12年目にして卒業まで辿り着くことができた。

放送大学では、知ることの楽しさを学べたとともに、達成感と自信を手に入れることができた。これからも学び続け、いずれは放送大学でまた勉強したいと思っている今日この頃である。

修了生代表の言葉

諦めず学び続けて

2022 年度第 2 学期
大学院文化科学研究科 臨床心理学プログラム修了
すぎき ゆみこ
杉木 由美子

私が放送大学で学び始めたのは、退職後を見据えて人の心について学び直し、理解を深めたいと思ったからでした。しかし、計画どおりにはいかず教養学部を卒業、修士課程を修了するまでには、思いのほか長い年月を要してしまいました。特に

修士全科生に入学した年は、コロナが流行し5月に予定されていた面接授業が延期され、しかも面接授業もゼミもオンラインになってしまいました。オンラインにはなかなか慣れることができず、また、準備不足もあって研究の進め方もよくわからず、やっていけるのかとても不安でした。指導教員は「諦めず食らいついてきてくれれば必ず修了できます。」と励ましてくれ、コロナが下火になると本部まで脚を運び指導して頂きました。修士課程を修了することができた今、諦めずに学び続けてきて本当に良かったと思っています。

2023年度第1学期学部及び大学院入学者

ご入学おめでとうございます！

4月9日（日）に、「2023年度第1学期入学者の集い」が開催され、新たな入学者を迎えました。

「入学者の集い」には約60名が出席し、学生サークル群馬混声合唱部による学歌斉唱に始まり、学長挨拶（録画動画）、工藤所長挨拶に続き、教員や群馬同窓会副会長からの歓迎の言葉がありました。また、式典終了後にはオリエンテーションのほか各学生サークル紹介も行われました。

第1学期は、群馬学習センター所属として、学部生368名、大学院生40名の、併せて408名の方々のご入学されました。新入生の皆様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

【学部入学者】

学生の種別	人数
全科履修生	117名
選科履修生	157名
科目履修生	86名
特別聴講生	8名
合計	368名

【大学院入学者】

学生の種別	人数
修士全科生	6名
修士選科生	27名
修士科目生	7名
合計	40名



工藤所長の挨拶



オリエンテーション



学生サークル紹介

群馬学習センター客員教員新体制・学習相談のご案内

2023年度における群馬学習センターの客員教員による教育・履修体制は以下のとおりです。

4月より、新たに板橋先生が着任されましたのでご紹介します。群馬学習センターでは、所長及び客員教員による「学習相談」や、前年度より発足した「広報・履修サポーター」に任命された在学生による履修サポートを、随時行っています。学習方法、修学上の疑問、卒業研究など気軽にご相談ください。

※相談を希望する場合には、日程調整がありますので、事前に事務室へご連絡ください。

----- 2023年4月以降の新体制 -----



客員教授 ^{いたばし}板橋 ^{はる}春夫

専門分野
民俗学



客員教授 ^{ふじもと}藤本 ^{むねとし}宗利

専門分野
日本文学
平安文学



客員教授 ^{まつうら}松浦 ^{つとむ}勉

専門分野
応用数学



客員准教授 ^{くろいわ}黒岩 ^{はつみ}初美

専門分野
学校保健学
スクールカウンセリング

退任のあいさつ

放送大学への道

^{かわかみ}川上 ^{あきら}晃



放送大学群馬学習センターには、2018年4月から2023年3月までお世話になりました。5年間通わせていただいた大学のことが、いま、懐かしく思い出されます。

大学には歩いて通いました。最初の日バスで行ったのですが、学生から歩くとよいとすすめてもらい、2日目から歩くことになりました。生まれ故郷の萩町の近くの大学に、思いがけず歩いて通えることがたいへん嬉しかったのを覚えています。

面接授業も客員教員ゼミも、午前の早い時間の開始でしたから、それに合わせて、朝の空気の中を若宮町まで歩くのはいつも気持ちのよいものでした。早朝に家を発って、8時半頃前橋駅に降り立ち、櫛の樹々を見上げながら歩きはじめ、表町から銀杏並木の坂を久留万橋まで下り、広瀬川の柳を見てから左に折れて花水木の道を行

き、県民会館前から緑深い櫛並木に入るといのがいつものコースでした。第1学期面接授業の5月、ゼミの6～7月、第2学期面接授業の10月、ゼミの11～12月と、授業の変わること、季節の移り変わりの感じられる道を通うことが毎年の楽しみになりました。授業の中でも、できるだけ季節感のあるものを取り上げたいと思い、「梅雨小袖昔八丈」を6月に、「人情噺文七元結」を年末に取り上げたのはよかったです。中秋の名月の「引窓」や「雪暮夜入谷畦道」を6月のゼミでやったのは、季節外れになってしまいましたね。授業については、教育学部とは違うものばかりを開講することになりましたが、それも楽しいことでした。面接授業といい、ゼミといい、学生の方々の学習意欲や熱意のおかげで、5年間新しい授業を出すことができたのだと思います。また、バスで松井田に出かけた「上州の人形芝居」のような授業は、事務職員の皆様に助けていただかなければできなかったものだと思います。

前所長や現所長、事務職員の皆様、学生の皆様のおかげと感謝しています。ありがとうございました。

システムWAKABAを活用しよう

システムWAKABAは、学生の皆様の学修をサポートするシステムです。パソコン・タブレット等でアクセスし、日々の学習にぜひご活用ください！

(※『学生生活の栞』学部P22～24・109～113 大学院P31～33・103～107)

【システムWAKABAにログインする】

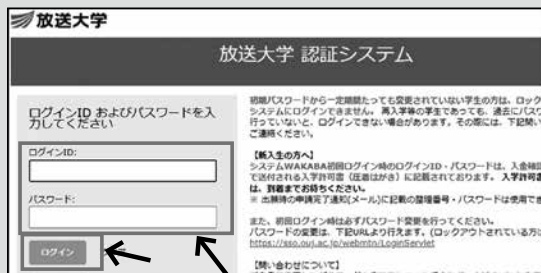
- 放送大学のウェブサイトを開き、「在校生(WAKABA)」をクリックし、「在学生の方へ」のページから「システムWAKABA(教務情報システム)」をクリック。



- ログインをクリック



- ログインIDとパスワードを入力し、ログインをクリック



ログインID：入学許可書記載のID
 パスワード：ご自身で設定されたパスワード
 ※初期パスワードから変更されていない方は、入学許可書記載のパスワードです。
 ※初回ログイン時にパスワードの変更をお願いします。
 (変更はログインしてから、左上プロフィール写真の下の「パスワード変更」からできます。)

【システムWAKABAの主な機能】



- キャンパスメール

※学生全員にメールアドレスが割り振られます

- ・大学からの修学関連の連絡
- ・大学や学習センターへの連絡

メールアドレス：学生番号(ハイフンなし)@campus.ouj.ac.jp
 ※学籍がなくなると使用できなくなりますので、ご注意ください!!

- 学内リンク

- ・放送授業(インターネット配信)の視聴
- ・Web通信指導の提出
- ・オンライン授業の受講
- ・Web単位認定試験の受験(自宅受験)
- ・過去の単位認定試験問題・解答の閲覧
- ・面接授業の空席確認、授業形態・シラバス変更情報の確認 等

- キャンパスライフ

- ・学内連絡：各種連絡事項の確認
- ・学内FAQ：学内でよくある質問及び回答の検索とその参照
- ・各種届出・申請様式：各種手続きで利用するファイルのダウンロード 等

- 授業サポート

- ・授業連絡、授業リンク：履修科目について、教員や職員からの授業リンクや連絡事項の参照
- ・資料室：過去の卒業研究など、各種資料のダウンロード 等

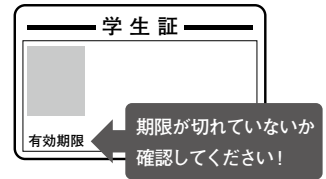
- 教務情報

- ・学生カルテ：学籍に関する各種情報の確認
(住所・連絡先情報、履修情報、単位取得状況情報、教材発送状況など)
- ・変更・異動手続：各種情報の変更等のWeb申請
- ・履修成績照会：履修した科目の成績の確認
- ・科目登録申請、継続入学申請 等

📎 学生証の交付について (※『学生生活の葉』学部P18～19 大学院P24～28)

下記の方は学生証を群馬学習センター窓口にて受領してください。受領の際は事前に学習センターにご連絡のうえ、来所してください。

- 対象者 ・2023年度4月入学者 ・学生証の有効期限が切れている方
- 学生証の交付に必要なもの ・入学許可書または期限切れの学生証



*写真の登録手続きをされていない方は、学生証の交付ができません。早急に大学本部へ「写真票」を郵送又はシステムWAKABAにて写真をご登録ください。
(「写真票」の郵送による登録の場合、学生証発行までに2週間ほどお時間がかかります。)

また受領は、郵送での対応も可能です。希望する場合には、下記を群馬学習センター宛てに送付願います。

- 学生証郵送希望の旨のメモ書き(様式不問。期限切れの学生証を返却希望の場合はその旨を記載)
- 入学許可書のコピーもしくは期限切れの古い学生証
- 返信用封筒(長形3号または4号に住所・宛名明記、244円分の切手貼付 ※特定記録郵便で送付するため)

📎 通信指導の提出について (※『学生生活の葉』学部P61～65 大学院P63～67)

単位認定試験を受けるためには通信指導を提出し、合格する必要があります。次の期間までに必ず提出してください。

〈提出期間〉

郵送の場合：2023年5月16日(火)～5月30日(火) 大学本部必着

WEBの場合：2023年5月9日(火) 10:00～5月30日(火) 17:00

期限に注意

〈2023年度第1学期に登録した科目の通信指導が未提出または不合格の場合〉

2023年度第2学期に学籍がある場合に限り(休学中の場合を除く)再度、通信指導を受けることができます。

科目登録の必要はありません。次学期に自動的に新しい通信指導が送付されますので、それを期限内に提出し、合格すれば単位認定試験の受験資格が得られます。

📎 図書室・視聴学習室の利用について (※『学習センター利用の手引』P8～9)

カバン、袋物の持込はできませんので、学習に必要な教材以外の所持品(貴重品を除く)は、コインロッカーに入れてから入室してください。(投入した100円硬貨は戻ります。両替は原則行いません。)なお、貴重品、筆記用具は、ロッカー室に配置してあるカゴをご利用ください。

📎 『学生生活の葉』『学習センター利用の手引』をご活用ください

学生生活で疑問に思うことは『学生生活の葉』『学習センター利用の手引』を参照してください。放送大学の学習システムや、スケジュール、単位認定試験、各種届出の様式など、重要な情報が掲載されています。





単位認定試験について

※『学生生活の葉』学部P65～78 大学院P67～76
最新情報は「放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp/>)」よりご確認ください。

自宅で
Web受験

2023年度第1学期の単位認定試験は「Web受験方式」により実施いたします。(一部科目のみ「郵送受験方式」で行います。) 出題形式は各科目で異なりますので、「授業科目案内」冊子でご確認ください。

※1科目50分の制限時間あり ※各科目1回のみ受験可能

〈自宅で受験の場合〉

- ・「授業科目案内」に記載されている試験日・時限に関わらず、試験期間中であれば24時間いつでも受験が可能です。下記の期間内に必ず、試験問題を解きWeb上で解答を提出してください。

試験期間 (Web受験方式) : 2023年7月15日(土) 9:00～7月25日(火) 17:00
提出期間 (郵送受験方式) : 2023年7月15日(土)～7月25日(火) (郵送必着)

〈自宅等でWeb受験が困難な場合 (インターネット環境がない方等)〉

- ・『学習センター受験申請書』で申請した方に限り、学習センターでの受験が可能です。



学習センター受験申請書の
提出はお忘れませんか

申請受付期間 (郵送) :
2023年4月1日(土)～5月24日(水) (大学本部必着)

- ・受験する際は、学生証と受験票が必要になります。(詳細は本部より郵送される通知をご確認ください。)
- ・学習センターで受験される場合も、「試験問題の閲覧」及び「択一式の解答」は学習センターのパソコンで行っていただきます。

試験期間	学 部 : 2023年7月18日(火)～7月25日(火)
(科目ごとに決められた日時)	大学院 : 2023年7月15日(土)～7月16日(日)

※試験期間前には必ず試験で使用する端末で『Web単位認定試験体験版』をお試ください。
Web単位認定試験の提出までの操作体験ができます。学習センター受験の方は、原則、学習センターでの操作体験会にご参加ください。(日程は別紙参照)



再試験について (※『学生生活の葉』学部P71 大学院P73)

〈2023年度第1学期に登録した科目の単位修得ができなかった場合〉

2023年度第2学期に学籍がある場合に限り(休学中の場合を除く)、科目登録をしなくても再試験を受けることができます。

手続きは必要なく、授業料等はかかりません。受験票は、次学期の単位認定試験前に自動的に送付されます。

2023年度第2学期出願期間 : 2023年6月10日(土)～2023年9月12日(火)
--



職員異動のお知らせ

よろしくお願ひします

2023年4月から勤務しています。

図書担当 丸山

お世話になりました

2023年3月に退職しました。

図書担当 張/長壁

学生サークル 紹介

現在、群馬学習センターでは、様々な分野の10サークルが活動しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、センター行事内での学生サークル紹介がなかなかできていない状況であることから、本誌にて数号に渡り、各サークルの活動内容やメッセージを、写真等を添えてお伝えいたします（紹介サークルは順不同）。ぜひ、ご興味のあるサークルをチェックしてみてください！

※サークル代表者への連絡先は事務室までお問い合わせください。

天文同好会

代表：阿部 博和

みなさん、お久しぶりです！お元気でいらっしゃいましたか？

そんな挨拶をすると、「あなたとは初対面ですよ。」と仰る方は多いかもしれませんね。

今から約138億年前、宇宙は誕生しました。そしてそのビッグバン直後の世界は、92%が水素、残り8%がヘリウムでした。それから膨大な年月の中で、それら2つの物質は様々な物質が生まれ、現在の私たちの周りに存在しています。そして何よりも私たち自身の身体を構成しているのです。つまり、少し強引かもしれませんが、原子レベルで考えれば遠い昔から私たちは既にお会いしている、と言っても過言ではないと思うわけです。そのように考えると、より一層の親近感が湧いてくるのではないのでしょうか。

そんな訳で改めまして、みなさん、お久しぶりです！お元気でいらっしゃいましたか？私たち天文同好会は、宇宙や天文について、共に学び、親睦を深めることを趣旨としています。そして、既に天文学について深い知識をお持ちの方も、全く初めてという方も共に楽しめる活動を心がけております。

【主な活動内容】

○吉岡塾：放送大学名誉教授の吉岡一男先生をお招きし、観察や実験のデータを使い、天文学者がいかにして宇宙の秘密を解明していくか、その概念や手法に触れながら、初等天文学を学びます。とてもアットホームで、質問しやすい「学び舎」となっています。

○太陽黒点観察会

○天体望遠鏡の組立・操作実習

○その他、会員相互の親睦を図る活動

※原則として毎月1・2回程度、活動を行っています。

※年会費：1,000円（見学、食事会等にかかる費用は別途申し受けます。）



太陽黒点観察会のようす

放送大学群馬学習センター数学同好会

会長：松澤 正昌

副会長：石原 博子、桜井 隆

私たち数学同好会は、毎月第1、第3木曜日のAM10:00より12:00の間に、群馬大学名誉教授の瀬山士郎先生を中心に、先生の著書及び会員相互の選択による参考書を、会員の輪読そして瀬山先生の解説により学習しています。また第2、第4木曜日には、在学生の中村さんの指導により高校数学の深堀学習をしております。またそれぞれの空いた時間には、会員相互により問題を出しあい勉強をしています。問題の中にはパズルや数独、パイソンによるプログラム学習を行うこともあります。

数学と言うと小難しい物と捉えがちですが、我が同好会は笑いやおしゃべりが絶えません。数学とは全く関係がありませんが、会員のお宅でパン作りや、先生のお宅に詰めかけ食事会などを行うことができます。

とにかく楽しいクラブです。一度覗いてみてください。

- 会費：2,000円／年（教科書別）
- 日時：第1～4木曜日（祝祭日を除く）
原則AM10:00～12:00
（※延長することがあります。）



活動のようす

放送大学学生サークル若宮クラブ (その②)*

会長：大高 清

歴史学に基づく「読書会クラブ」をご紹介します。このクラブは、毎月第2火曜日10時30分から12時まで開催されています。歴史学に興味のある方々に向けて、講師をお招きして歴史に関する書籍を読み、ディスカッションをする場を提供することを目的としています。

講師は群馬大学の名誉教授である落合延高先生です。先生の豊富な知識と経験をもとに、参加者とともに書籍について考えることで、歴史の深層を探求します。

参加者は、事前に読む本が指定されます。その本に基づいて、先生とディスカッションを行い、さまざまな視点から歴史を学びます。また、参加者同士での意見交換や情報交換もできます。

歴史に関心のある方、そして、落合延高先生の知識や経験に触れてみたい方は、ぜひ参加してください。

年会費1,000円〈若宮クラブメンバーは無料〉

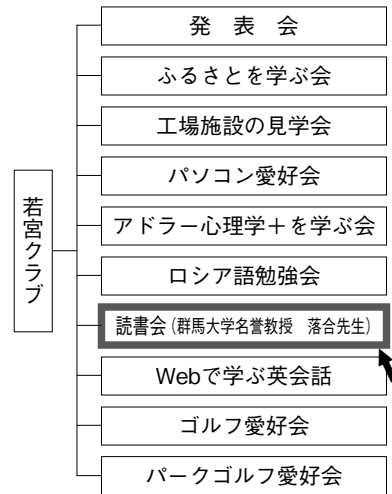


〈過去に「読書会」にて取り扱った書籍〉



*若宮クラブは活動が多岐にわたるため、複数回に分けてご紹介します。

〈若宮クラブ活動一覧〉



読書会へのお申し込みは…

* 若宮クラブ 大高までお気軽にご連絡ください。

* 右記QRコードからお申し込みいただけます。



群馬学習センターのウェブサイト紹介

サイトリニューアル中

群馬学習センターのウェブサイトがリニューアルしました。緊急のお知らせや講演会等行事のお知らせ、学習センター概要や施設利用案内、公認サークル等の情報に加え、新たに証明書や学生証の発行手続き方法なども掲載しています。随時更新していきますので定期的にご覧ください。



学生証発行
について

証明書発行
手続き
について

入学相談
について

開所時間や
臨時閉所

年間
スケジュール

ゼミや講演会
のお知らせ

など…

ウェブサイトアドレス
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/gunma/>



土曜フォーラム開催報告

2022年度の公開講座「土曜フォーラム」を2回開催しました。今回は、掲げたテーマに対して複数の講師がコラボレーションし、異なる角度から焦点をあてた講演会となりました。

各回とも、講座内容に関心を持たれた方がたくさん参加され、講師の先生の興味深いお話に聞き入り、感銘を受けた有意義な講演でした。

『真田用水群の魅力』

2022年12月17日（土）開催

群馬県の北部、利根・吾妻郡には、真田氏が統治した1590～1681年の間に、100余の中小用水群を開削している。用水開削数は4代目信政、5代目信利の時代に特に多い。その特徴は、利根川上流の険しい山岳地形を測量し様々な工法を駆使している。後に改易となった信利は、同時に多くの寺社仏閣の建造も行っている。また、検地や藩政改革も行い過酷な税の取り立てや刑罰を行ったイメージとやや異なる。以上、用水開削を通してその真相に迫る。今日北毛・真田の里は日本一美味しい米づくりの里でもある。



田中講師



河合講師



丑木講師

第1部 真田用水群の魅力と特長～写真集を中心に～

講師 元群馬県理事兼農業局長 田中 修

第2部 押野用水の特徴と管理の現状

講師 放送大学客員教授 河合 明宣

第3部 沼田藩真田氏と3万石から14万石のからくり

講師 国文学研究資料館名誉教授 丑木 幸男

(56名の参加者が聴講)

『音楽と文学で紡ぐ道成寺の世界』

2023年2月18日（土）開催



藤本講師

紀州道成寺には、熊野参詣の途次、真砂の庄に宿をとった美僧に恋慕した娘が、彼を追って行くうちに大蛇となり、道成寺の釣り鐘の中に隠れた相手を、鐘もろともに焼き殺したという凄まじい話が伝えられています。一般に安珍清姫伝説として知られるこの物語は、能楽や歌舞伎の題材として多くの二次創作物を産んでいますが、中でも最もポピュラーなのが「京鹿子娘道成寺」です。今回はこの作品の魅力、音楽と文学の両面から探って行こうという試みです。

第1部 蛇と女の物語をめぐって

講師 放送大学群馬学習センター客員教授・

群馬大学教授 藤本 宗利

第2部 「娘道成寺」の音楽

講師 放送大学群馬学習センター客員教授・

群馬大学名誉教授 川上 晃



川上講師

(61名の参加者が聴講)

※ 2023年度の「土曜フォーラム」は、2023年12月、2024年2月に開催予定です。

今後のスケジュール

- 閉所日 ○ 面接授業
- 試験 △ 客員教員ゼミ

5月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	⑥	⑦
8	9	△10	11	△12	⑬	⑭
15	16	△17	18	19	⑳	㉑
22	23	△24	25	26	㉗	㉘
29	30	△31				

6月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	③	4
5	6	△7	8	△9	⑩	11
12	13	△14	15	16	⑰	⑱
19	20	△21	22	23	24	25
26	⑳	㉘	29	30		

7月						
月	火	水	木	金	土	日
					①	②
3	4	5	6	△7	⑧	⑨
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	△4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※スケジュールは変更になることもあります。

5月

- 1～5日 群馬学習センターGW閉所期間
- 9日 通信指導受付開始 [WAKABA ~5月30日17:00]
- 16日 通信指導受付開始 [郵送必着 ~5月30日]
- 30日 通信指導提出期限

○面接授業○

- 6日・7日 「心理統計入門」
- 13日・14日 「社会福祉をはじめ」
「実践防災学1」
- 20日・21日 「文学と映画で学ぶ英語と文化1」
「心理検査法基礎実習」
「国有林野の生物多様性復元事業」
- 27日・28日 「新・初歩からのパソコン」
「ハンセン病問題と地域社会」
「源氏物語の世界ー夢浮橋巻ー」

△客員ゼミ△

- 10日・17日・24日・31日 板橋ゼミ
- 12日 小野里ゼミ
- 24日・31日 藤本ゼミ



6月

- 7日 「所属コース変更願兼カリキュラム移行届」提出期限 [郵送必着・WAKABA]

- 24日 Web単位認定試験体験会
- 25日 卒業研究履修ガイダンス

○面接授業○

- 3日・10日 「機械学習入門」
- 10日・17日 「C言語プログラミング入門」
- 17日・18日 「人体の構造と機能3」
- 27日・28日 「次世代自動車産業と環境問題」

△客員ゼミ△

- 7日・14日・21日 板橋ゼミ
- 7日・14日・21日・28日 藤本ゼミ
- 9日 小野里ゼミ



7月

- 5日・9日・12日 Web単位認定試験体験会
- 15日～25日 単位認定試験 (自宅Web受験)

○面接授業○

- 1日・2日 「心理学実験2」
- 1日・8日 「論文の書き方」
「補完・代替療法入門」
- 2日・9日 「民俗学講座」

△客員ゼミ△

- 7日 小野里ゼミ
- 29日・30日 黒岩ゼミ



8月

- 10日 「所属学習センター変更願」提出期限 [郵送必着・WAKABA]
- 15日 2023年度第2学期 科目登録受付開始 [郵送・WAKABA]
- 30日 2023年度第2学期 科目登録期限 [郵送必着]
- 31日 2023年度第2学期 科目登録期限 [WAKABA]

△客員ゼミ△

- 4日 小野里ゼミ



お願い

台風等による風水害の影響があった場合や、感染症対策及び施設整備等の都合により、予定した日程を延期または中止にしたり、臨時閉所したりすることがあります。今後の予定変更は、群馬学習センターウェブサイト等でお知らせしますので随時ご確認ください。

同窓会からのお知らせ

「私の課題発表会」を開催

3月11日(土)に、2022年度「私の課題発表会」を開催しました。本発表会は群馬同窓会と群馬学習センターの共催により、本センター所属学生が、大学や大学院で取り組んだ研究成果を、多くの在学生・同窓生の前で披露する機会として開催しているものです。

今回の発表会では、教養学部で卒業研究に取り組んだ南雲正和さん(テーマ「日米生糸貿易の創始者新井領一郎の新世界」と、大学院で修士論文に取り組んだ持木豊さん(テーマ「教員とスクールカウンセラーの不登校に対する視点の違いと協働に関する一研究」)の2名が発表されました。それぞれ発表後には、聴講者との活発な質疑応答が行われ、参加した客員教員の講評においては研究内容に対する高評価の感想やこれまでの慰労の言葉がありました。この発表を聴いた、これから卒業研究・修士論文に取り組もうと考える学生にとっては、大変参考となるよい機会になったと思います。



発表会のようす



南雲正和さん



持木豊さん

そうしょ 叢書のご案内

放送大学の叢書は次の1刊が加わり全59刊となりました。左右社やAmazonなどインターネットで購入することもできますが、群馬同窓会では学生の皆さんがお求めやすい価格設定(10%引き)で販売しております。全刊をエントランスホールの書棚に置いてありますので、購入希望の方は学習センター窓口にてお申し付けください。

【新刊】「少年非行(新版)」 鮎川 潤 著



左右社

放送大学 10月 入学生募集がはじまります!

2023年度第2学期(10月入学)の教養学部および大学院(修士選科生・修士科目生)の学生を募集します。

募集内容の詳細や、インターネット出願については、放送大学ウェブサイトをご覧ください。大学案内パンフレット、学生募集要項などの各種資料は、群馬学習センターで配布しているほか、放送大学ウェブサイトまたはお電話でもご請求いただけます(無料)。皆様のご友人・知人で興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。

【第1回募集期間】 2023年6月10日(土)～2023年8月31日(木)

※入学学期当初から面接授業の登録申請をしたい方は、第1回募集期間内にお手続きしてください。

【第2回募集期間】 2023年9月1日(金)～2023年9月12日(火)

●資料請求・お問い合わせ先

放送大学群馬学習センター

TEL 027-230-1085

資料請求フリーダイヤル

TEL 0120-864-600

詳しくは放送大学ウェブサイト

「入学案内」で検索!



入学相談も
おこなって
います!

